

中小企業タスクフォース活動報告

中小企業事業継続研修会 (全12講座)

2022年10月25日火曜日

説明者 高橋副理事長

特定非営利活動法人 **事業継続推進機構**(BCAO)

1. 中小企業タスクフォースの立ち上げ

- 事業継続計画(BCP)を策定する講座ではなく、
中小企業の経営者の事業継続力を高めるため、
お悩み解決のためのポイントを提供する講座
- 中小企業・小規模事業者のBCAOへの加入促進に
結び付けていきたい
- 2020年10月から活動開始 毎月第3月曜日の
18時から会議を開催 2022年10月が23回目の開催
- メンバーには中小企業経営者も参画

2. 中小企業タスクフォースのメンバー

メンバー 下記の12名

共同座長 ◇丸谷さん ◇高橋

◇伊藤さん ◇細坪さん ◇西川さん ◇大谷さん

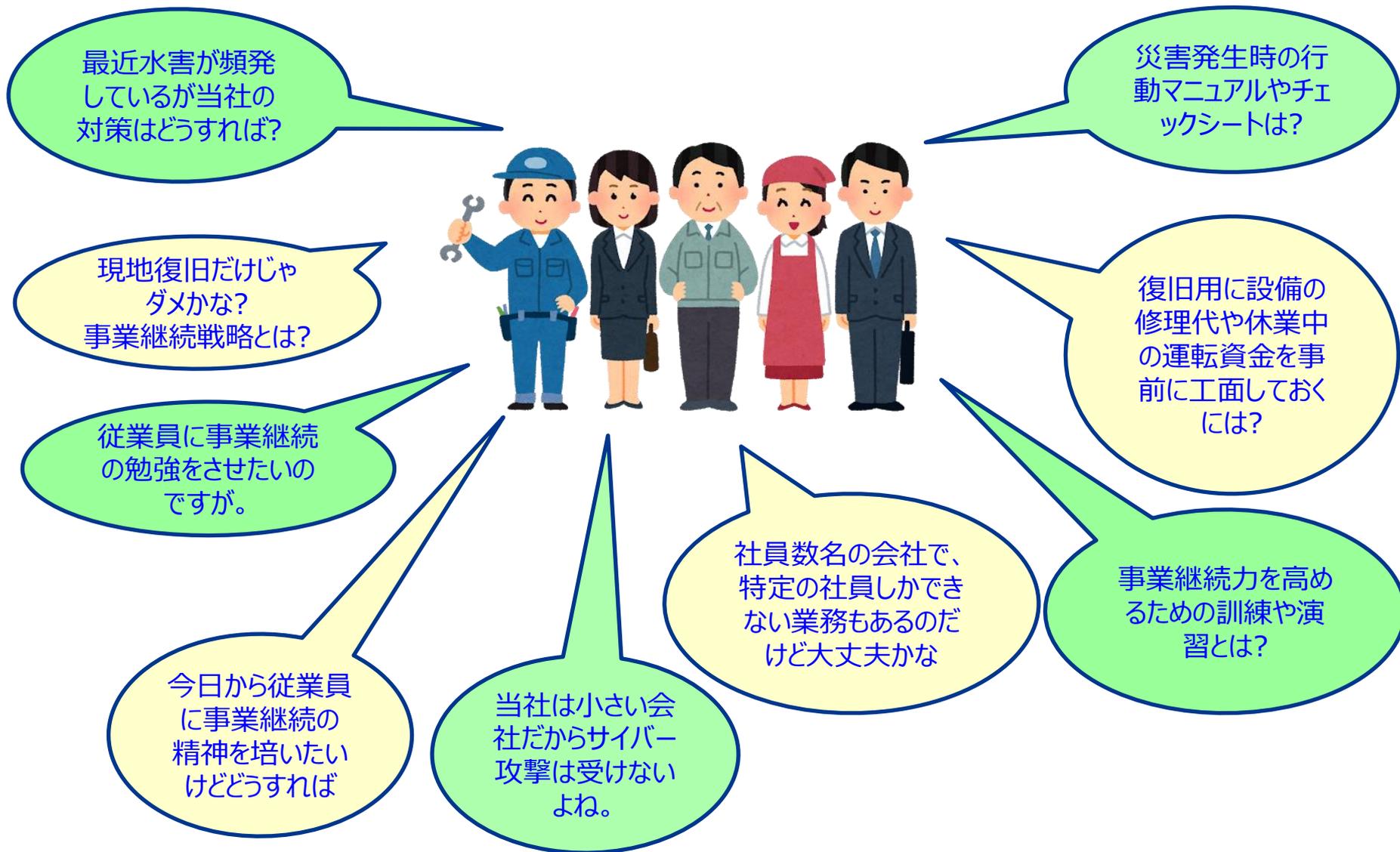
◇黒川さん ◇山本さん ◇木村さん 9名参加

中小企業の経営者である理事3名に参加

◇奥野さん ◇平松さん ◇新沼さん 3名参加

3. 中小企業事業継続研修会の策定経緯

中小企業経営者の事業継続力を強化したいお悩みが多様化



4. 研修会(全12講座)の特徴

- 事業継続計画(BCP)を策定する講座ではなく、中小企業の経営者の事業継続力を高めるため、お悩み解決のための**ポイント**を提供する講座
- 中小企業・小規模事業者の経営者も監修しており、**小規模事業者の経営者**にとってもわかりやすい内容になっています。
- 講座番号1の「導入 中小企業のBCの必要性、現状、支援の取組」から、講座番号12の「まとめ さらなる事業継続力向上へ ～経営視点」の全12講座ありますが、**順番に講座を受ける必要はありません**。貴社のお悩みに該当する講座をお聞きください。
- 毎月、ひとつの講座を解説いたしますが、動画としても**腑に落ちるまで何度でも**視聴することができます。
- 講座を受けた方からの**ご質問も随時受け付け**、お答えさせていただきます。
- BCAO会員は無料で受講できますが、非会員の方は1講座あたりの受講料金が五千元です。個人会員の年会費が1万円ですので、**会員になれることをお勧めします**。

5. 中小企業事業継続研修会カリキュラム(全12講座)

1 導入
中小企業のBCの必要性、現状、支援の取組
事業継続力強化計画認定制度を含む

2 BCP、BCMの基本的な考え方～リソース(経営資源)、重要業務、目標時間

3 主なハザードごとの知識と対策
(1) 地震・津波、噴火、火災

4 主なハザードごとの知識の対策
(2) 風水害・土砂災害、大雪、竜巻・風害

5 主なハザードごとの知識と対策
(3) 感染症、テロ、大規模事故、長期停電

6 リソース制約、事業継続戦略
ハザード別でなくリソース制約と考える、代替戦略、早期現地復旧戦略、事業転換など

7 リスク分析、平常時の体制
～リスク分析、経営者・担当者の役割、事業継続への組織文化づくり

8 非常時の対応計画
～対応体制(チーム編成・チームタスク)、行動チェックリスト、マニュアル

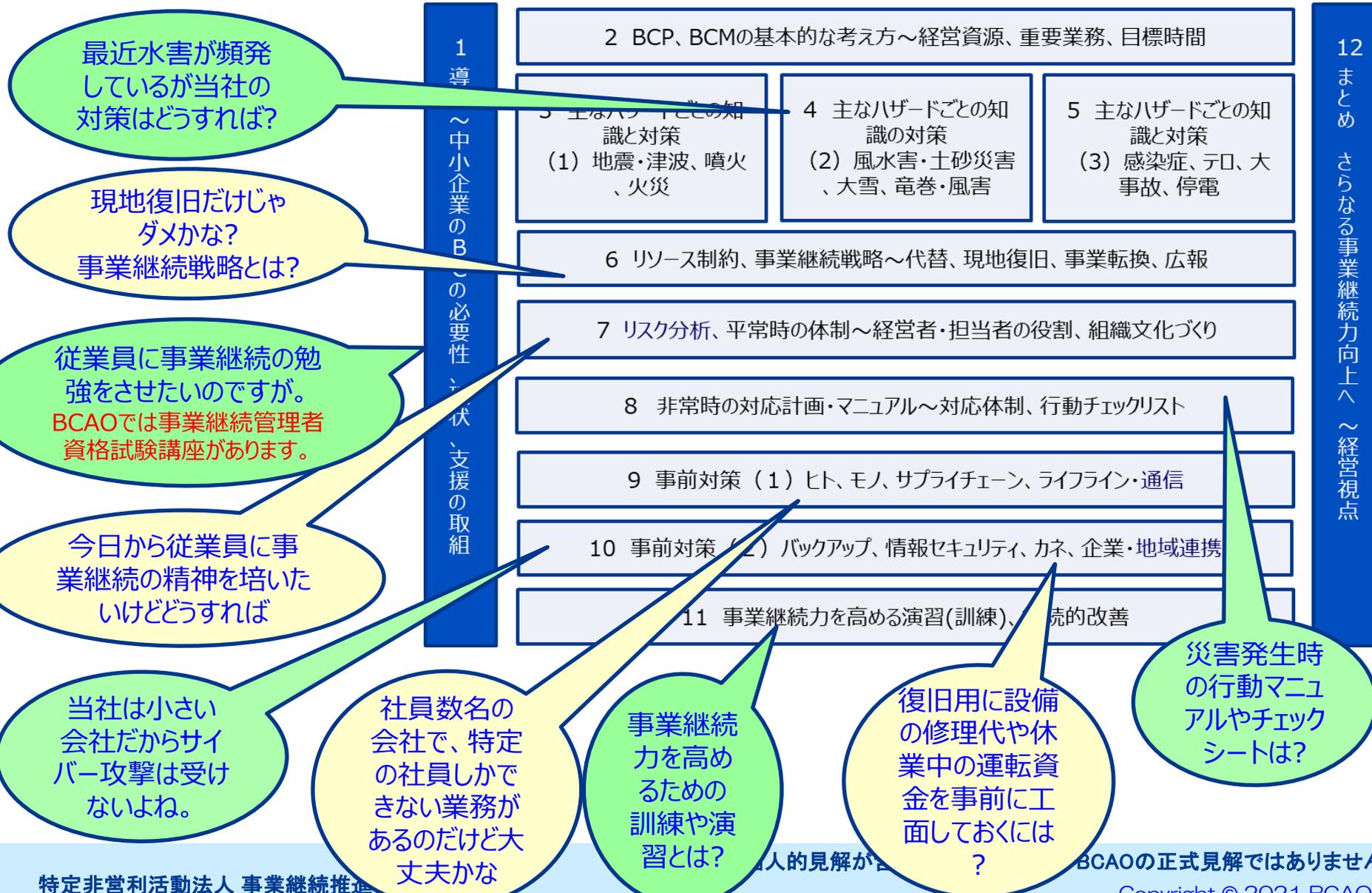
9 事前対策 (1) ヒト、(2)モノ、ライフライン、通信、広報 (3)サプライチェーン

10 事前対策 (1) 情報バックアップ、IT・情報セキュリティ(サイバーテロ)、
(2)カネ(金融機関・保険会社・企業間信用・株主)、企業連携

11 事業継続力を高められる演習(訓練)と継続的改善

12 まとめ
さらなる事業継続力向上へ
経営視点、レジリエンス認証を含む

6. 事業継続力強化に関するお悩みと講座の結びつき



7. 2021年度第1回普及セミナーから講座の発表をスタート (2021年11月30日(火)13時30分～15時40分)

- 13:30～13:35 理事長挨拶 丸谷 浩明
- 13:35～13:50 中小企業タスクフォースの趣旨、メニュー構成についての説明
高橋 孝一 副理事長
- 13:50～14:20 講座1 「導入」中小企業のBCの必要性、現状、支援の取組
～事業継続力強化計画認定制度を含む～
丸谷浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長
- 14:20～14:25 休憩
- 14:25～14:55 講座4 「主なハザードごとの知識と対策」
～中小企業の事例発表 水害対応～
西川 智／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事
奥野一三／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事
- 14:55～15:25 講座12 「まとめ」さらなる事業継続力向上へ
～経営視点、レジリエンス認証を含む～
伊藤 毅／特定非営利活動法人事業継続推進機構 副理事長
- 15:25～15:40 質疑応答

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

8. 例示 第9回 事前対策 (2) モノ(ライフライン・通信・広報含む)

- ① 中小企業は4つの経営資源が維持できないと事業継続が厳しい
- ② 経営資源としてのモノの例示
- ③ ガイドライン解説書の重要な要素を把握する方法
- ④ 重要な要素・資源の把握(モノとの関連大)
- ⑤ モノに影響する代替戦略と現地復旧戦略
- ⑥ 経営資源としてのモノに対する対策事例
- ⑦ 事業継続のための早期災害復旧サービスの紹介

出典：高橋作成資料

9. 2021年8月九州豪雨 土砂災害 温泉旅館 早期災害復旧 サービスを紹介、具体事例で大変参考になったとのこと

ご依頼8/19～調査8/24（*現地封鎖のため） 6日間で作業完了

- 土砂崩で、1万m³の汚泥が流入
- 館内全域も汚染
- 作業内容
汚泥除去
床・壁・アルカリ洗浄磨き
除菌
強制乾燥
非常口付近の土砂の除去
土嚢設置



出典：山本理事提供資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構



A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)

本部:

〒103-0016

東京都中央区日本橋小網町10-2 日本橋フジビル6階

TEL:03-6231-1240 FAX:03-6661-9191

Eメール:bc@bcao.jp

ホームページ:www.bcao.org

支部:

〒550-0004

大阪府大阪市西区靱本町1-5-18 ミフネ本町ビル 806号室

TEL:06-6479-0771 FAX:06-6479-0772